

■草津市デマンド型乗合タクシー事業検討の経過

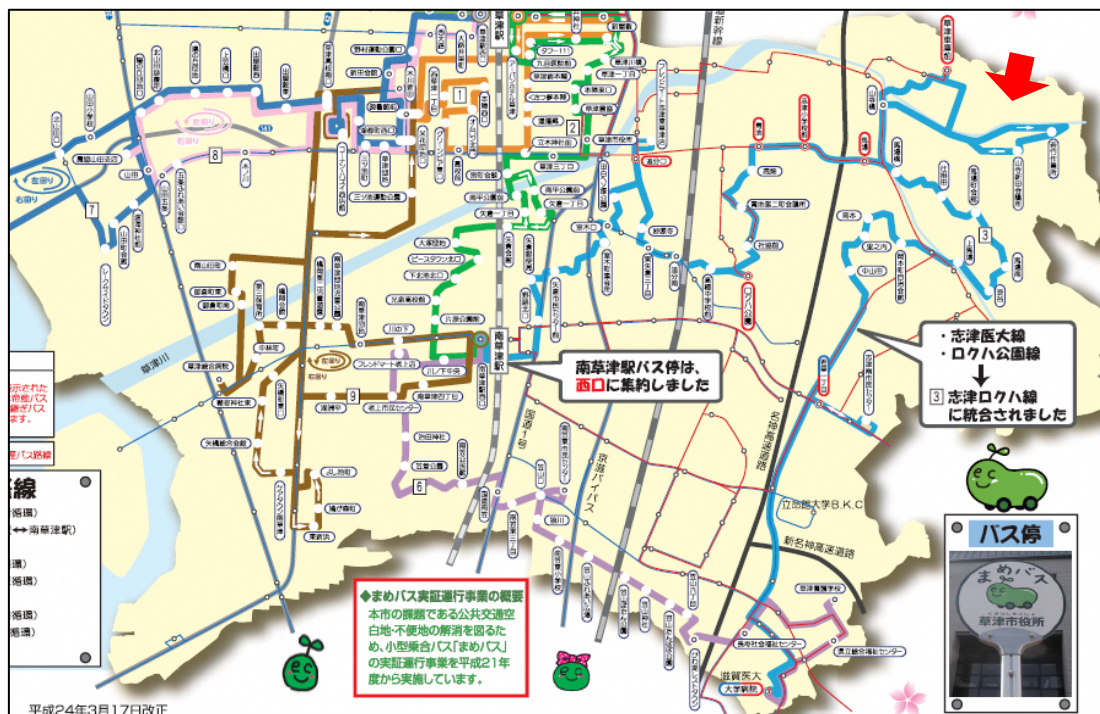
草津市内のバス交通空白地・不便地における移動手段については、これまで、まめバスにより対応を検討してきました。しかしながら、まめバスの導入を要望いただいた地域への移動手段を検討する中で、バス運転手の確保や労務管理などの課題から、まめバス新規路線を検討することが困難な地域がありました。

そこで、まめバスでは運行が困難な地域の移動手段として、デマンド型乗合タクシーの導入について検討いたしました。

■地域からの要望と検討

1. 志津学区からの要望

過去にまめバスの実証運行を行った志津学区より、運休となったまめバスを再度運行できないかと平成27年度に要望をいただきました。



↑ H24.4～H25.3 まめバスマップ(水色: 志津ロクハ線)

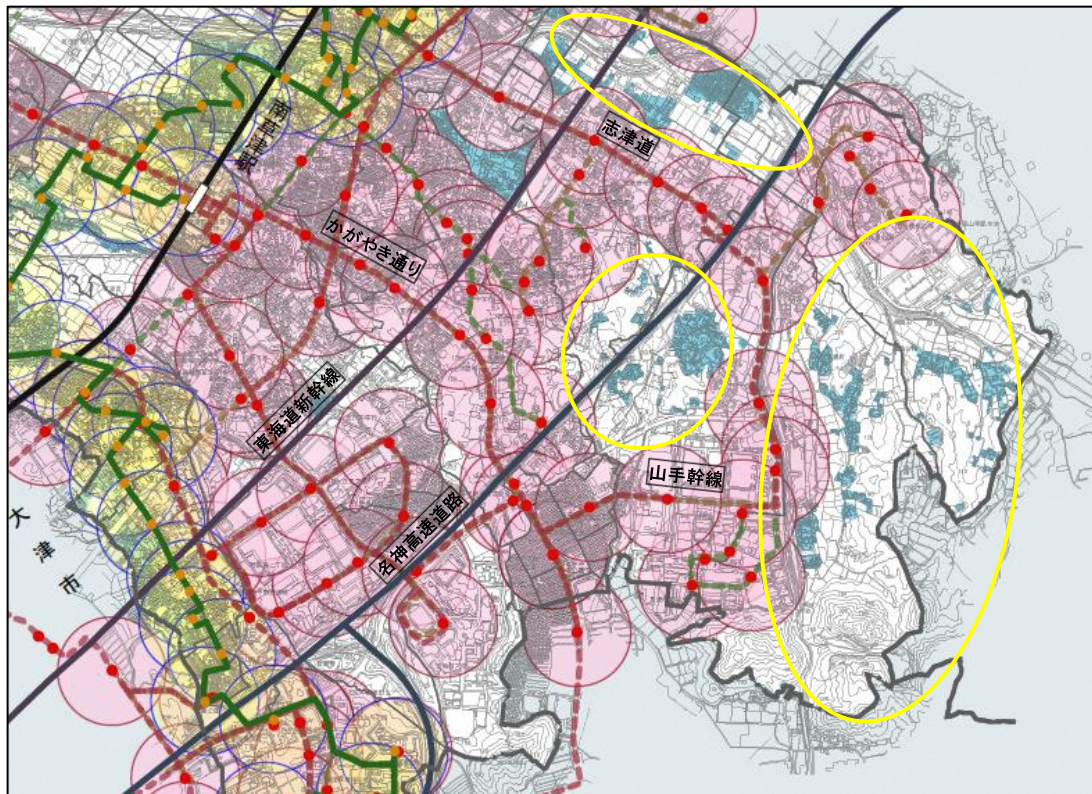
(補足)

志津学区のバス交通空白地・不便地における移動手段として、H22.1～まめバス「ロクハ公園線」(収支率 8.5%)、H22.3～「志津医大線」(収支率 2.7%)の運行を開始し、H24.4～「ロクハ公園線」「志津医大線」を統合した「志津ロクハ線」(収支率 6.1%)を運行しました。

しかしながら、「志津ロクハ線」は運行距離や運行時間が長く、利用者が少ない状況でしたことから、本格運行とする基準の収支率未達となり、結果的にH25.3で運行休止となりました。

2. 志津学区におけるバス交通空白地・不便地

志津学区では、県道大津能登川線（志津道）やかがやき通りを中心にバス路線が運行する地域ですが、まめバス「志津ロクハ線」の運休以降は、志津学区内にバス交通空白地・不便地が各所に存在し、交通に不便を感じておられる地域がありました。



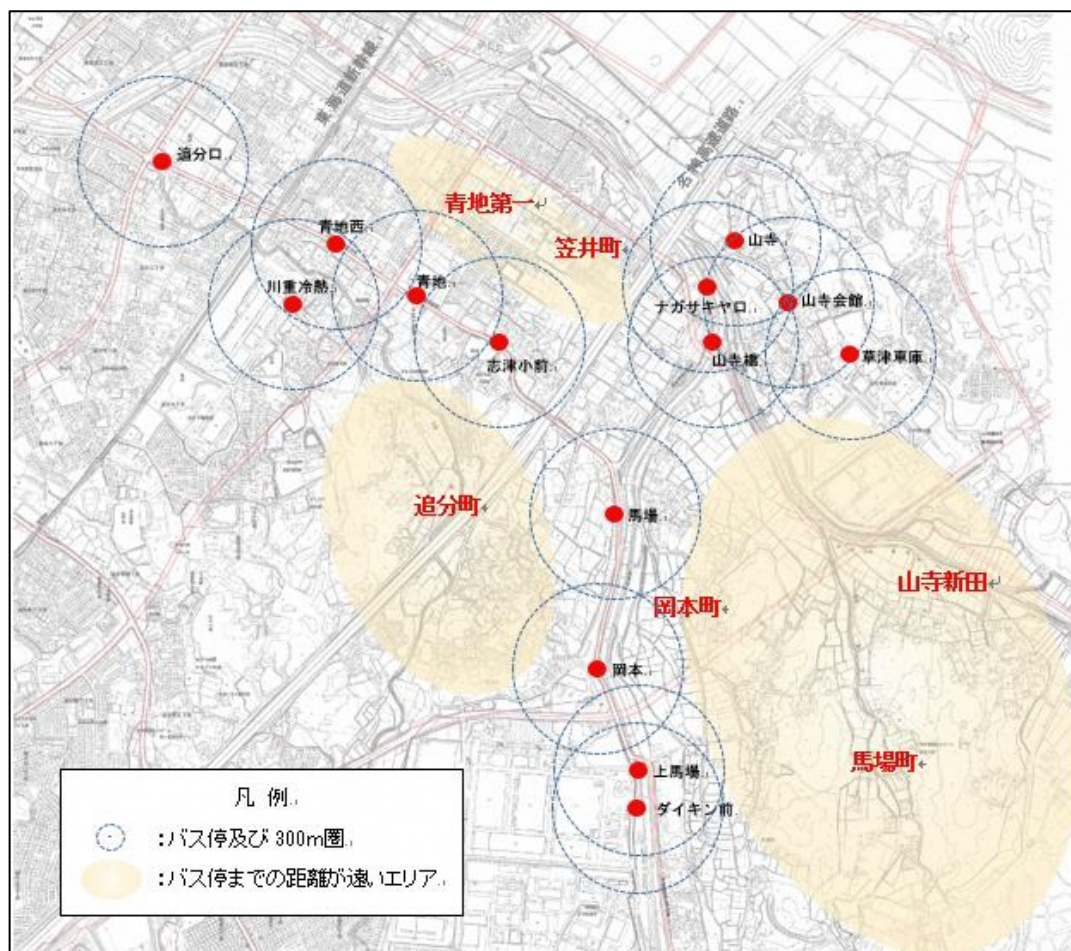
↑ バス交通空白地の状況 (H25.4 時点)

3. 交通アンケート調査の実施

志津学区内で、どの地域が特に交通に不便を感じておられるかを調査するため、平成28年度に地域主体で交通アンケート調査を実施されました。

交通アンケート調査の結果から、志津学区内で特に交通に不便を感じておられる地域は、青地第一、笠井町、追分町、山寺新田、馬場町、岡本町の6地域だということがわかりました。

志津学区での新たな公共交通は、当該6地域を中心とした移動手段を検討することとなりました。



↑ 特に交通に不便を感じておられる6地域

4. 地域ニーズを調査するワークショップの実施

交通アンケート調査で判明した、特に交通に不便を感じておられる6地域への新たな公共交通を検討するため、各地域の生活や交通ニーズを調査するワークショップを平成29年度に実施しました。

	地区名	日時	参加者数
1	青地第一・笠井町	H29.10.6(金)AM	11名
2	追分町	H29.9.19(火)AM	41名
3	山寺新田	H29.8.25(金)PM	25名
4	馬場町	H29.8.25(金)AM	16名
5	岡本町	H29.8.22(火)AM	20名

↑ ワークショップの実施状況

【ワークショップから得られた現状・ニーズ等】

①青地第一・笠井町

項目	現状及び課題
交通手段等の実態	◆JR 草津駅方面へは、晴れの日には自転車、雨の日には路線バスを利用する。 ◆滋賀医科大へは、市役所前からまめバスを利用する。
生活利便施設の利用状況	◆JR 草津駅周辺へ行くことが多い。 ◆『フレンドマート志津東草津店』を利用する。 ◆買物は毎日する。 ◆『中島内科・眼科』、『志津井上内科』など近隣を利用する。 ◆JR 草津駅周辺の病院を利用する。 ◆JR 草津駅周辺の美容院を利用する。
外出の現状	◆外出は午前中が多く、帰宅時間は 17 時までである。
支線交通へのニーズ等	（支線交通等のニーズ） ◆現状では問題ないが、高齢化に伴い将来的な交通手段確保に不安がある。 ◆まめバスを走らせても利用が少ないと思う。 ◆志津道側など路線バスが近いところはバス料金の助成などを行い、笠井町のような不便なところは別の交通手段がほしい。 ◆以前運行していた路線バスは、朝夕しか運行しておらず廃線となった。住民の生活サイクルにあった交通手段がほしい。 （停留所のニーズ） ◆路線バスの停留所までは遠い。 ◆笠井町は近くにバス停がない。（最寄りの岡停留所まで 10 分） ◆地区を一体とするのではなく、笠井町側と志津道側で分けて考えるべき。 （その他） ◆通院したい病院があるが、現在の交通手段では行けない。 ◆笠井町及び青地町の北部は岡バス停を利用するが、1 時間に 1 本しかない。

②追分町

項目	現状及び課題
交通手段等の実態	◆路線バスを利用する場合は、JR 南草津駅方面を利用する。 ◆JR 草津駅方面へ行くときは、JR 南草津駅まで路線バスを利用し、電車で JR 草津駅まで行く。 ◆現状では、路線バスなど公共交通を利用せず、主に自家用車で駅、生活利便施設等へ行く。 ◆診療所等へは家族や近所の知人に送迎してもらう。 ◆『滋賀医科大学』へは、タクシーを利用する。（月 1 回程度）
生活利便施設の利用状況	◆日常的な買物には、『フレンドマート追分店』を利用する。 ◆『平和堂』、『近鉄百貨店』も利用する。 ◆買物は週に 2～3 回程度する。

	◆『若草診療所』、『中島内科・眼科』など近隣を利用する。 ◆昔から通い慣れているので JR 草津駅周辺の病院を利用する。
外出の現状	◆外出は午前中が多い。
支線交通へのニーズ等	(支線交通等のニーズ) ◆目的地まで徒歩では遠いが、タクシーを利用するには近すぎるので、バス等の公共的な交通手段がほしい。 ◆矢倉一丁目を通るまめバスを追分町まで延伸してほしい。 (運行ルートのニーズ) ◆病院や診療所など循環するバス等がほしい。 ◆路線バスなどへの乗り換えが必要だと使いづらい。 (運行ダイヤのニーズ) ◆病院には診療開始前に到着できるようにしてほしい。 ◆最終は 17 時頃まで運行してほしい。 (停留所のニーズ) ◆路線バスの停留所までは遠いと感じている人が多い。 ◆家の近くにバス停がほしい。 (その他) ◆まめバスが運行していた当時に利用していた人は少なかった。

③山寺新田

項目	現状及び課題
交通手段等の実態	◆JR 草津駅方面へ行くときに路線バスを利用する。 ◆JR 南草津駅方面は利用しない。 ◆バス停は草津車庫か馬場を利用する。
生活利便施設の利用状況	◆『スターグリーンヒル店』、『フレンドマート志津東草津店』、『アルブラザ』、『近鉄百貨店』を利用する。 ◆『スター』、『フレンドマート』は乗用車で利用し、バスで買物に行く場合は、JR 草津駅前まで行く。 ◆買物は週に 2～3 回程度する。 ◆志津道周辺の診療所を利用するほか、『九谷医院』など JR 草津駅前の診療所も利用する。 ◆山寺新田の住民は若草方面をあまり利用しない。
外出の現状	◆外出は午前中が多い。
支線交通へのニーズ等	(支線交通等のニーズ) ◆現状では問題ないが、高齢化に伴い将来的な交通手段確保に不安がある。 ◆予約の手間があっても、制度次第では利用したい。 ◆栗東市と連携するなどして利用者を増やし、まめバスを再開することはできないか。 (運行ルートのニーズ) ◆路線バスへの乗継ぎなしで JR 草津駅にアクセスできるようにしてほしい。

	い。 (その他) ◆路線バス会社にも補助し、休止している路線（美濃郷線）を再開してほしい。 ◆障害者関連施設、地域包括支援センターなど福祉関連施設が集積しているので路線バスが必要ではないか。 ◆スーパーの配送サービスは別途手数料を取られるので利用しない。 ◆タクシー料金の助成や割引、給付などの制度を創設してほしい。
--	--

④馬場町

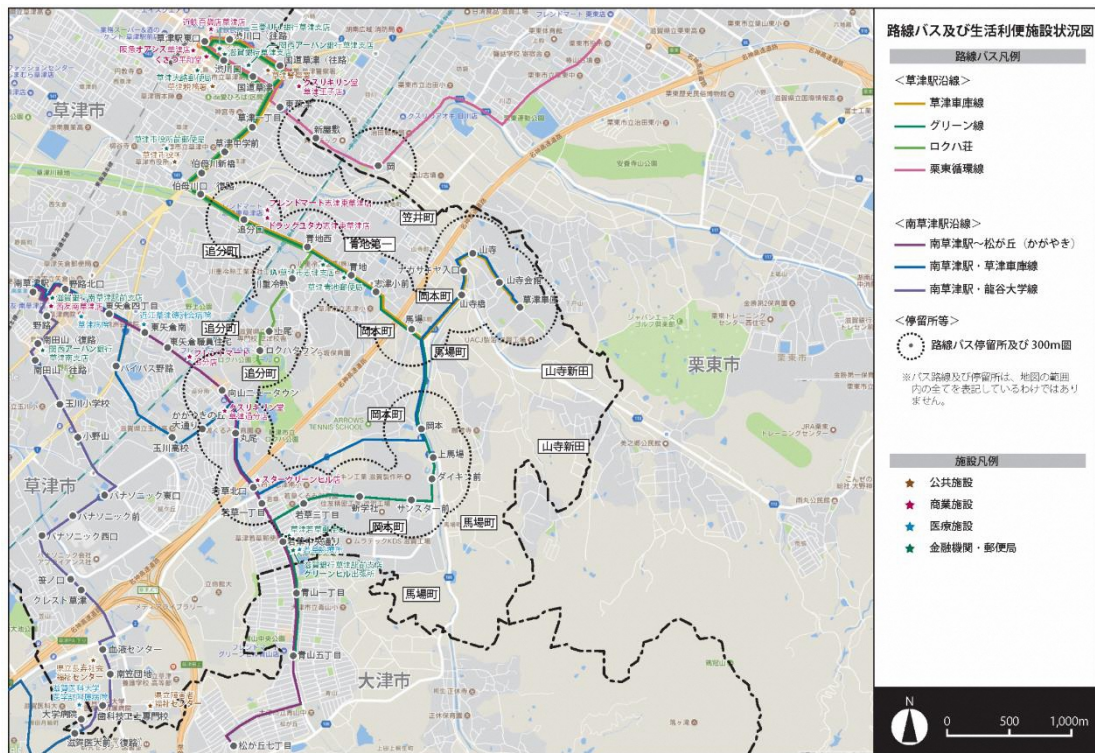
項目	現状及び課題
交通手段等の実態	◆JR 草津駅や市役所方面へ行くときに路線バスを利用する。 ◆JR 南草津駅方面は利用しない。 ◆最寄りのバス停でも徒歩 15 分と距離がある上、草津川や急勾配な地形などのアクセス障害が多い。 ◆自家用車や原付で駅、生活利便施設等へアクセスする。 ◆自身で運転するか家族に送迎してもらっている。 ◆『滋賀医科大学』へは、タクシーを利用する。(年 1 回程度)
生活利便施設の利用状況	◆『スターグリーンヒル店』、『アルプラザ』、『近鉄百貨店』を利用する。 ◆買物は週に 2～3 回程度する。 ◆診療科目が多いこともあり、『若草診療所』を利用する。 ◆『志津歯科』、『中島眼科』など、志津道周辺の診療所を利用する。 ◆JR 草津駅より志津道沿の店舗等をよく利用する。 ◆『若草診療所』まで行ければ、銀行、郵便局も利用できる。
外出の現状	◆外出は午前中が多く、帰宅時間は 17 時までである。
支線交通へのニーズ等	(支線交通等のニーズ) ◆若草までの公共交通によるアクセスを確保してほしい。 ◆予約の手間があっても、利用したい施設付近まで行けるなら利用したい。 ◆路線バスの経営状況も厳しいようであり、共存できる方法を考えたい。 (運行ルートのニーズ) ◆馬場町は坂が多いので、住宅内を通る路線を設定してほしい。 ◆JR 草津駅までの運行ルートの実現が望ましいが、バス路線と競合するならばやむを得ない。 ◆路線バスと競合しないルートで JR 草津駅までの路線を確保できないか。 ◆デマンドバス等の新たな路線をつくり、路線バスに乗り換えられるように。 (運賃のニーズ) ◆デマンドバスだけなら 300 円くらいでもよいが、路線バスと接続するなら割引などの配慮がほしい。 ◆高齢者割引、障害者割引などの配慮がほしい。 (その他) ◆路線バス会社にも補助すべき。

⑤岡本町

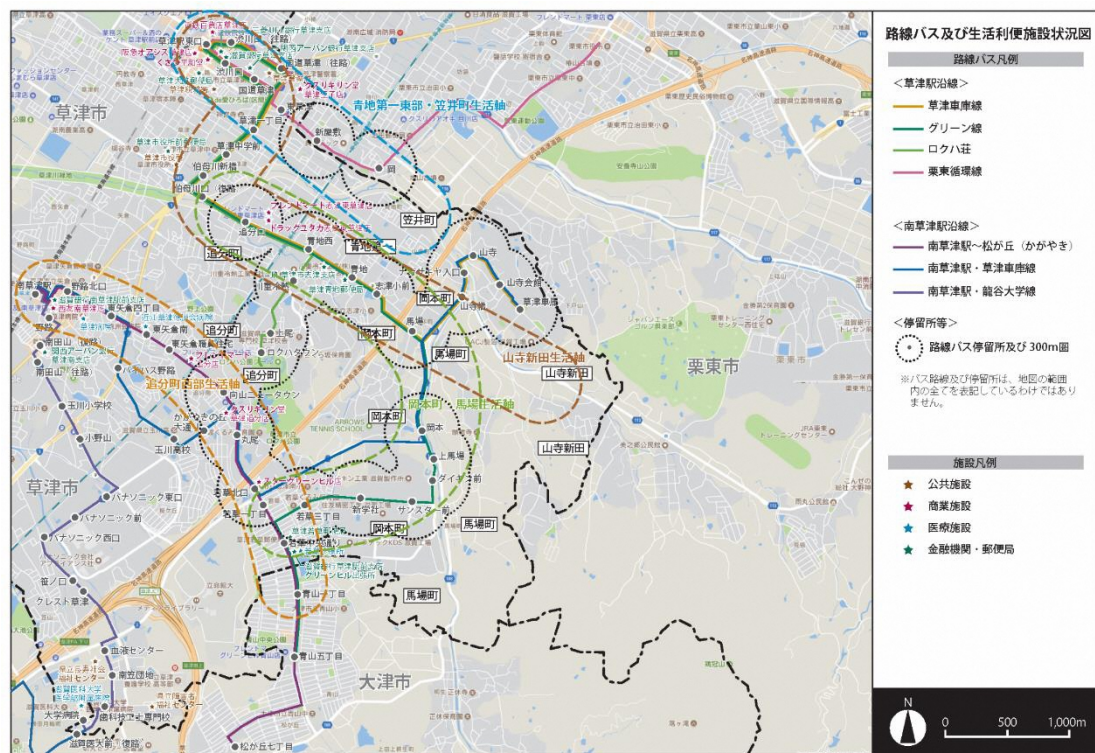
項目	現状及び課題
交通手段等の実態	◆現状では、路線バスなど公共交通を利用せず、主に自家用車で駅、生活利便施設等へアクセスする。 ◆自身で運転するか家族に送迎してもらっている。
生活利便施設の利用状況	◆『スターグリーンヒル店』、『フレンドマート志津東草津店』を利用する。 ◆町に近接し診療科目が多い点などから、『若草診療所』を利用する。 ◆乗用車の送迎が主であるため、週2回程度でまとめ買いをする傾向である。
外出の現状	◆外出は午前中が多く、遠方への外出時でも帰宅時間は17時までである。 ◆土日はほとんど外出しない。
支線交通へのニーズ等	(支線交通等のニーズ) ◆現状では問題ないが、高齢化に伴い将来的な交通手段確保に不安がある。 ◆新たな交通手段が確保されれば積極的に利用したい、外出回数が増えるという期待感がある。 (運行ルートのニーズ) ◆スーパー、郵便局、病院などを回れるルートがほしい。 ◆買物、病院を回るだけでよい。その他は公共交通等を利用する。 ◆曜日によって行く方向、立ち寄る店舗等を変えるなど多様性を持たせてほしい。 ◆JR草津駅までのルートが望ましいがバス路線と競合するなら難しい。 ◆JR草津駅には、バス路線の停留所に接続し、乗り換えで行けるように。 (運行ダイヤのニーズ) ◆病院には診療開始前に到着できるようにしてほしい。 (停留所のニーズ) ◆デマンド等の停留所は、徒歩5分以内にほしい。 (その他) ◆まめバスの利用の際、運転手の運転が乱暴であった、気持ちよく利用できるようにしてほしい。 ◆路線バス利用時に車両と歩道の間隙に躓きケガをした。バリアフリーなどに配慮してほしい。

5. ワークショップ結果に基づく生活圏域の整理

ワークショップ結果に基づき、志津学区の生活利便施設や生活圏域を位置図にまとめ、公共交通を検討するための基礎としました。



↑ワークショップ結果に基づく路線バス及び生活利便施設状況図

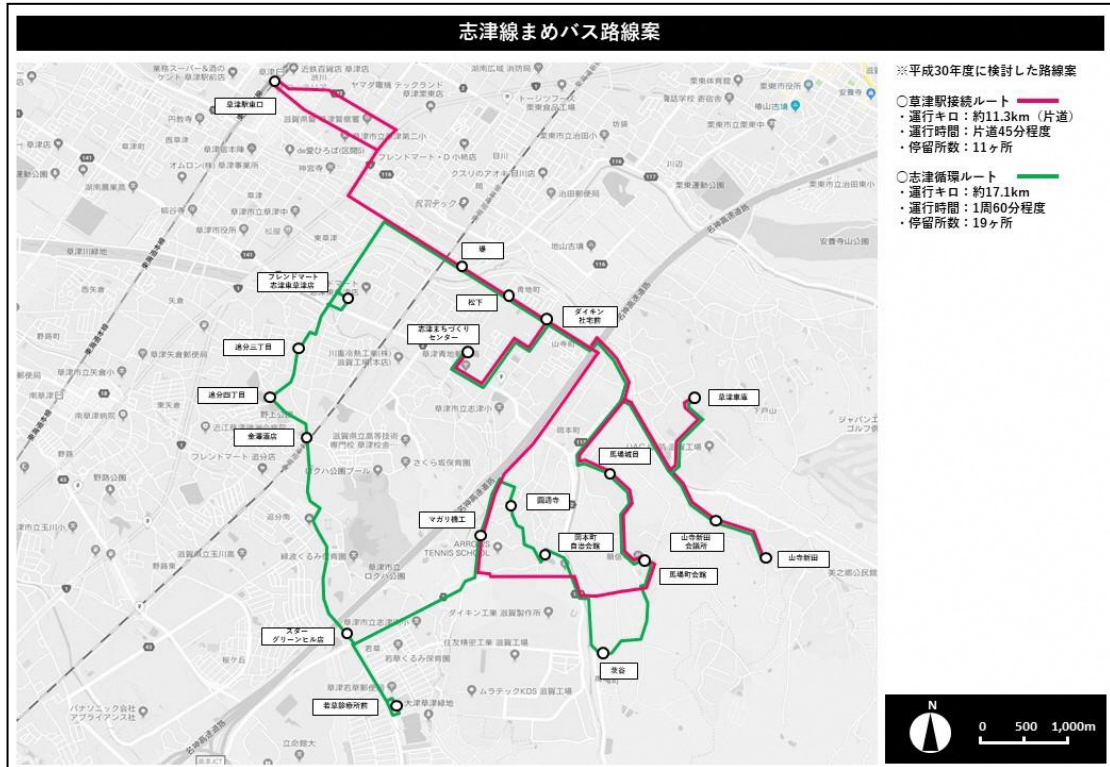


↑ワークショップ結果に基づく各町の生活圏域イメージ図

6. まめバス新規路線案の作成

ワークショップ結果に基づく生活圏域図に基づくまめバス新規路線の導入可能性について、平成30年度に地域とともに検討しました。

まめバス路線案は、志津学区から草津駅へアクセスする「草津駅接続ルート」と、志津学区内の生活利便施設等を循環する「志津循環ルート」の2路線に取りまとめました。



↑ワークショップ結果に基づくまめバス路線案

7. 公共交通の詳細を検討するワークショップの実施

検討したまめバス路線案を基に、令和元年度に、交通に不便を感じておられる6地域において、停留所や運行時間帯などの詳細について検討するワークショップを実施しました。

当該ワークショップでは、「草津駅接続ルート」は既存公共交通との競合の懸念があることや、「志津循環ルート」は運行時間が長い（1便あたり60分程度）ため利便性の面で懸念があること、また、バス業界全体で運転手不足の問題が深刻となっている背景も踏まえ、まめバス以外の移動手段としてデマンド型乗合タクシーの導入可能性も含めて検討しました。

	地区名	日時	参加者数
1	青地第一	R1.10.25(金)AM	21名
2	笠井町	R1.10.9(水)AM	13名
3	追分町	R1.10.28(月)AM	37名
4	山寺新田	R1.10.11(金)PM	24名
5	馬場町	R1.10.11(金)AM	28名
6	岡本町	R1.10.22(祝)AM	33名

↑ワークショップの実施状況

【ワークショップから得られた公共交通への意見】

①青地第一

項目	意見
停留所	◆ 草津駅ルートはいいが、将来的には電車に乗らなくなるかも。 ◆ 滋賀医大まで行ってもらえると助かる。 ◆ 住宅内(田中)は道が細いが、停留所を作してほしい。
料金	◆ まめバスかデマンドタクシーかは料金次第。 ◆ 利用者を増やすために 1 日フリーパスを作ってはどうか。
時間帯	◆ デマンドタクシーは、病院の帰りの時間が分からない。 ◆ 運行開始は 10 時では遅いので、9 時からほしい。
運行方法	◆ 現状でも、細い道を大型車が通っているので、可能ならまめバスを運行してほしい。

②笠井町

項目	意見
停留所	◆ デマンドタクシーであれば、笠井町内にも停留所を設置したい。 ◆ ダイキン社宅前にも停留所がほしい。 ◆ 他の交通の妨げにならないければ、停留所の場所は問題ない。 ◆ 循環ルートでは、フレンドマートに必ず行けるようにしてほしい。 ◆ 井上医院の近くに停留所を設けてほしい。 ◆ 草津駅へ行けるのであればそれでいい。
料金	◆ 400 円～500 円では乗らないが、300 円程度なら乗る。 ◆ 往復 700 円なら乗らない。 ◆ まめバスと同額(200 円)であれば、デマンドタクシーも乗る。 ◆ 料金が高ければ、いくら便利であっても乗らない。 ◆ 高齢者割引や運転免許証自主返納者への支援も検討してほしい。 ◆ まめバスの往復割引制度を、デマンドタクシーでも実施してほしい。
時間帯	◆ 日曜日でも運行してほしい。 ◆ 若い人も利用できるよう、通勤通学時間帯も運行してほしい。 ◆ 雨の日に自家用車で送迎している代替りの交通として、夕方にも運行してほしい。 ◆ 病院の診察時間が長くなる場合もあるので、帰りの予約がしにくい。 ◆ 時刻表が決まっていれば、それに合わせて出掛ける。 ◆ 1 時間に 1 便程度あればいい。
運行方法	◆ 運転手不足の状況から勘案すると、デマンドタクシーでいいかと思う。 ◆ 気が楽なのはまめバスだが、デマンドであっても予約して乗車する。

③追分町

項目	意見
停留所	◆ 滋賀医大に停留所を設けてほしい。 ◆ 3箇所追加してほしい。(詳細は地図)
ルート	◆ 南草津駅への運行ルートを考えてほしい。 ◆ かがやき通りや志津道、国道1号に運行させてほしい。
料金	◆ 100円にすると利用者が増えるのではないか。 ◆ 路線バスとの乗り継ぎ割で運賃を100円にできないのか。
運行方法	◆ 以前も運行していたまめバスを、もう一度運行してほしい。

④山寺新田

項目	意見
停留所	◆ 停留所の場所はこのままでいい。 ◆ ゴルフ場の手前にも停留所がほしい。 ◆ 定員が満席の時は、目的地まで最短ルートで行けるといい。 ◆ スーパーの駐車場に停留所を設けてほしい。 ◆ 病院ルート(滋賀医大行き)を検討してほしい。 ◆ 井上医院へ行ける停留所を設けてほしい。
料金	◆ 高くても300円、できれば200円がいい。
時間帯	◆ 特定の曜日だけ運行でいい。(月、水、金など) ◆ まめバスを特定の曜日だけ走らせた方がいい。 ◆ 利用したい時に利用できるようにしてほしい。 ◆ 試験運行で課題が出てくれば、時刻表変更など対応してほしい。
運行方法	◆ まめバスが休止になった経緯があるので、理由をつきつめて考えないといけない。 ◆ 路線バスへの乗り継ぎをスムーズにできるといい。 ◆ 栗東(ルモンタウン)と連携して利用者を増やすのはどうか。 ◆ 病院は時間が読めず、予約は不便なため、まめバスの方がいい。

⑤馬場町

項目	意見
停留所	◆ 以前まめバスが運行していた頃と同じ場所に停留所を設けてほしい。 ◆ ダイキン前にも停留所がほしい。 ◆ 若草診療所行くので、滋賀銀行前に停留所がほしい。 ◆ スターへ行くので、駐車場の中に停留所がほしい。 ◆ 滋賀医大にも停留所を検討してほしい。
料金	◆ 300円程度で乗れるなら、デマンドタクシーの方がいい。
運行方法	◆ まめバスもデマンドタクシーも両方運行してほしい。 ◆ デマンドタクシーであっても、予約して利用する。

⑥岡本町

項目	意見
停留所	◆ 2 箇所追加してほしい。(詳細は地図) ◆ 山手幹線は誰も乗らないので、運行する必要はない。 ◆ 草津駅まで行ける路線を運行してほしい。 ◆ 買い物、病院に行けたらいい。
料金	◆ 200 円から 300 円がいい。 ◆ 500 円以上なら乗らない。
運行方法	◆ 複数名で移動することも考えられるので、まめバスの方がいい。

8. ワークショップ結果とまめバス路線案への反映

ワークショップの結果、まめバスとデマンド型乗合タクシーのどちらを希望するかを比較すると、まめバスを希望される意見がやや多い結果となりました。

しかしながら、ワークショップで得た停留所や運行ルートへの意見を取りまとめ、「草津駅接続ルート」および「志津循環ルート」に反映したところ、「草津駅接続ルート」は1便あたり約60分、「志津循環ルート」は1便あたり約80分という長距離・長時間路線となりました。



↑ワークショップ意見を反映したまめバス路線案

9. まめバス新規路線の実現可能性の検討

ワークショップ結果を踏まえたまめバス路線案の実現可能性について、志津学区に事業所のある帝産湖南交通㈱に相談させていただきました。

まめバス路線案「草津駅接続ルート」「志津循環ルート」については、バスルートとして運行するには道路幅員が狭い箇所が多いことや、1便あたり60分以上の路線はバス運転手の労務管理が難しいこと、また同時に、まめバス新規路線を運行するバス運転手の確保自体が困難な状況もあり、まめバスでは運行が困難ではないかと御意見をいただきました。

10. 草津市版デマンド型乗合タクシー事業の想定

バス路線としての運行が困難な状況のため、まめバスでの運行が困難な地域を中心とした移動手段としてデマンド型乗合タクシーの導入について検討しました。

また、草津市における既存公共交通の状況を踏まえ、草津市版のデマンド型乗合タクシーの役割分担を以下のとおり想定しました。

種 別		役 割
公 共 交 通	路線バス	◆基幹軸として都市機能誘導区域と市内の生活・交通拠点や大学、工業団地、医療施設等を結ぶとともに、通勤・通学をはじめとする比較的大量な移動を分担 ◆近隣市との広域移動も分担 ◆JR琵琶湖線の東西にバス網が放射状に形成
	コミュニティバス	◆路線バスでカバーできないバス交通空白地・不便地の住民の移動手段を分担
	デマンドタクシー	◆コミュニティバスでカバーできないバス交通空白地・不便地の住民の移動手段を分担
	一般タクシー	◆ドア・ツー・ドアのきめ細かい移動を分担 ◆365日24時間の柔軟な移動を分担
そ の 他	福祉有償運送	◆障害者や介護を必要とする高齢者などの移動制約者を対象に、通院・通所・買物などの移動を分担
	地域支え合い運送	◆高齢者や障害者など、日常生活の支援が必要な人を対象に、地域で住民ボランティアの方々による運送支援を分担

↑ 草津市におけるデマンド型乗合タクシーの役割分担(既存交通は網計画より抜粋)

草津市版のデマンド型乗合タクシーの事業概要について検討するにあたり、他市のデマンド型乗合タクシーの事業内容から比較検討を行いました。

【他市デマンド型乗合タクシーの運用種別】

項目	内 容
運営主体	◆地域主体【大津市晴嵐台、岡山県倉敷市】 ・地域が運営主体になり、タクシー会社と契約を結び運用 ・事業費用は地域で負担 ◆行政主体【その他市町】 ・路線バスやコミュニティバスでカバーできない地域だが、少数でも移動手段を必要としている地域への公共交通としてデマンド型乗合タクシーを実施
運行方式	◆ダイヤ固定型【東近江市、高島市】 ・ルート、停留所、ダイヤを固定し、既存公共交通への影響を抑制 ◆ポイント・ツー・ポイント型【守山市、長浜市、甲賀市】 ・ルートは決めず、停留所(点と点)を結ぶ運行 ◆ドア・ツー・ポイント型【大津市】 ・自宅前から特定の目的地までを結ぶ運行
利用登録	◆登録制(住民のみ)【大津市】 ・利用者を地域住民に限定 ◆登録制(条件付き)【守山市】 ・交通弱者を対象とし、既存交通から利用者を取らないよう登録制 ◆登録制(条件なし)【長浜市】 ・誰でも登録可能だが、登録がないと利用不可 ◆登録制なし【その他市町】 ・コミュニティバスと同様に、バス交通空白地の移動手段として、登録なし

↓

【草津市版デマンド型乗合タクシー事業(案)】

項目	内 容
運営主体	◆行政主体 ・まめバス事業と同様に行政主体 ・まめバスでは運行が困難な地域を中心に確保する移動手段
運行方式	◆ダイヤ固定型 ・まめバスと同様に路線・停留所・運行時間を設定し運行 ・まめバス運行地域との地域差をなくすため、可能な限りまめバスと同様の運用 ・既存公共交通への影響を抑える
利用登録	◆登録制なし ・まめバスと同様に登録制はなし

当該事業概要を想定し、ワークショップ結果を踏まえた路線案「草津駅接続ルート」「志津循環ルート」においてデマンド型乗合タクシー事業を検討しました。

11. デマンド型乗合タクシーの実現可能性の検討

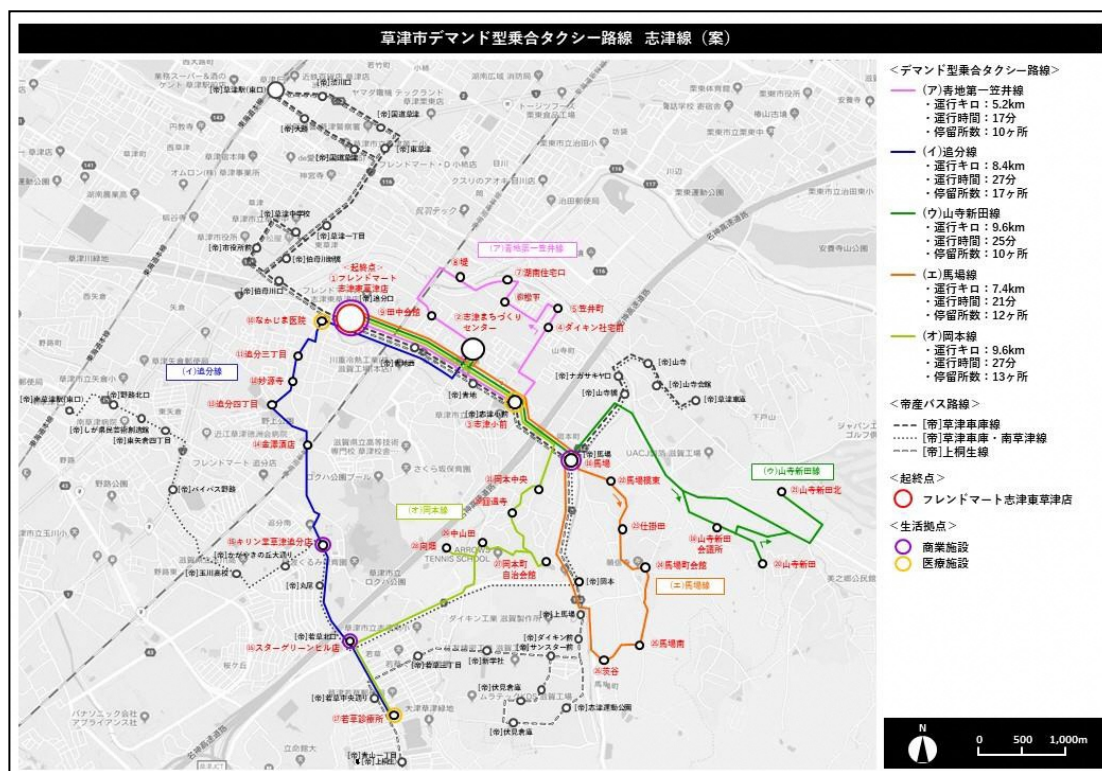
ワークショップ結果を踏まえた路線案「草津駅接続ルート」「志津循環ルート」を、デマンド型乗合タクシーで運行することの実現可能性について、志津学区に事業所のある(株)帝産タクシー滋賀に相談させていただきました。

まず、「志津循環ルート」については、デマンド型乗合タクシー路線として検討する場合においても、路線が長いため、地域住民にとって利便性が悪く、路線自体を見直す必要があるのではないかと御意見をいただきました。

そこで、ワークショップの際、各地域で志津学区内の商業施設(フレンドマート志津東草津店)へのアクセスのニーズがありましたことから、当該商業施設を交通拠点とし、複数の路線が各地域へ延びる形へ修正することで、「志津循環ルート」をコンパクトな路線へ見直しを行いました。

次に、「草津駅接続ルート」については、デマンド型交通を駅へ接続することは、市全体の交通ネットワークを勘案すると既存バス路線への影響が大きく、今後デマンド型乗合タクシーを展開していく局面となれば影響が拡大していくため、運行は困難ではないかと御意見をいただきました。

このことから、「草津駅接続ルート」については検討を取り止めました。



↑ 交通拠点を中心としたコンパクトな路線へ修正したデマンド型乗合タクシー路線案

■草津市デマンド型乗合タクシーの概要(案)

- ・草津市内において実施するデマンド型乗合タクシーは、「バス交通空白地・不便地において、まめバスでは運行が困難な地域を中心に移動手段を確保する公共交通」として位置付けて運用
- ・デマンド型乗合タクシーの事業内容は、まめバス運行地域との地域差をできる限りなくするため、原則まめバスに準ずる内容とし、運行路線、停留所、運行時間は固定して運行、利用料金についてもまめバスと同等を想定
- ・デマンド型乗合タクシーの運行路線、停留所、運行時間は、交通拠点を設け、拠点における既存バス路線への乗り継ぎを想定し、既存バス路線の利用を促進
- ・既に地域に定着したまめバスと同様に、デマンド型乗合タクシーも持続可能な公共交通として地域へ定着を図ることを目標に、名称は「まめタク」と想定



■実証運行予定

草津市での新たな公共交通としてデマンド型乗合タクシーの実証運行を行いたく、以下のスケジュールで取組を検討しております。

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
運行開始					 11 下～ 実証運行開始
路線認定		 8 月地権者調整	●9 中 認可申請	●10 下 事業認可	
協議会	●7/6 公活協 (事業説明)  7 下 地公会・公活協【議案】 (事業内容の審議)		 9 上 地公会・公活協【議案】 (実施主体の審議)		
業者選定		 8 月業者選定			
運行準備			 9～10 月停留所・マグネット等の発注・納品		
広報		 8～9 月マップの作成・納品		●10 上 マップ配布	
地元調整			 9 月住民説明会		

↑ デマンド型乗合タクシーの実証運行に向けたスケジュール(案)